

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和8年第31週 (ARIのみ第30週) の発生動向

□ 全数報告の感染症 (31 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。
 2 類感染症：結核 5 例。
 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 2 例。
 4 類感染症：報告なし。
 5 類感染症：報告なし。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	男	肺結核	なし
			90歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			90歳代	女	無症状病原体保有者	なし
		延岡	50歳代	女	肺結核	咳、痰
		日南	60歳代	女	肺結核及び粟粒結核疑い	咳、発熱、その他
3類	腸管出血性大腸菌 感染症	都城	5～9歳	男	無症状病原体保有者	なし、O血清群不明(VT1)
		小林	5～9歳	女	—	腹痛、水様性下痢、嘔吐、発熱、O26(VT1)

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 302 人(定点当たり 18.5)で、前週比 93%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、RS ウイルス感染症であった。

また、第 30 週の急性呼吸器感染症の報告総数は 1,154 人(定点当たり 41.2)で、前週比 99%とほぼ横ばいであった。

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 92 人(3.3)で、前週比 87%と減少した。年齢群別は 15 歳未満が全体の約 8 割を占めた。

【A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

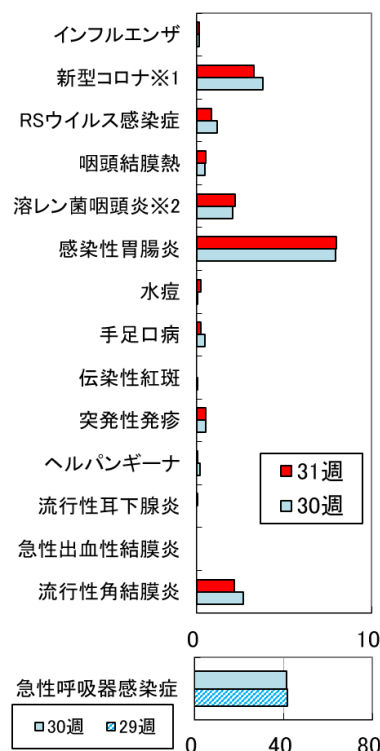
報告数は 33 人(2.2)で、前週比 106%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (1.6) の約 1.4 倍であった。年齢群別は 4 歳から 6 歳が全体の約 4 割を占めた。

【感染性胃腸炎】

報告数は 120 人(8.0)で、前週比 101%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値* (6.0) の約 1.3 倍であった。年齢群別は 1 歳が全体の約 2 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間 (2015—2019) の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値

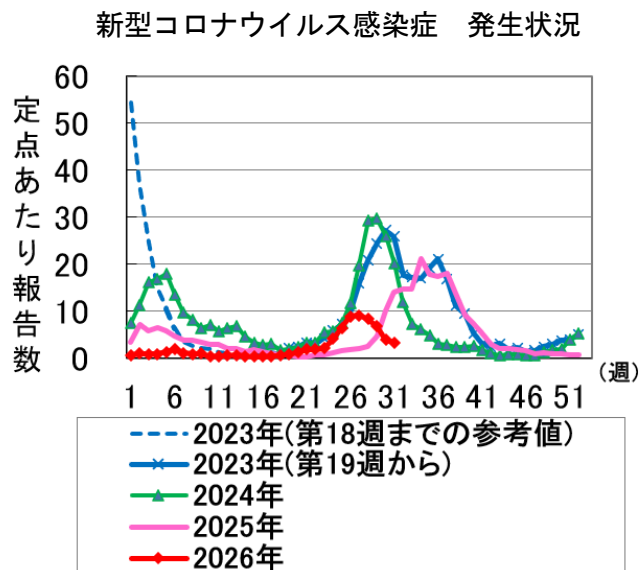
《前週との比較》



定点あたり報告数

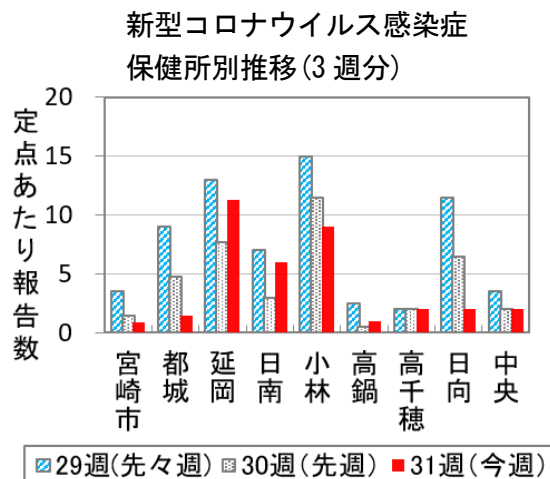
※1 新型コロナウイルス感染症

※2 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

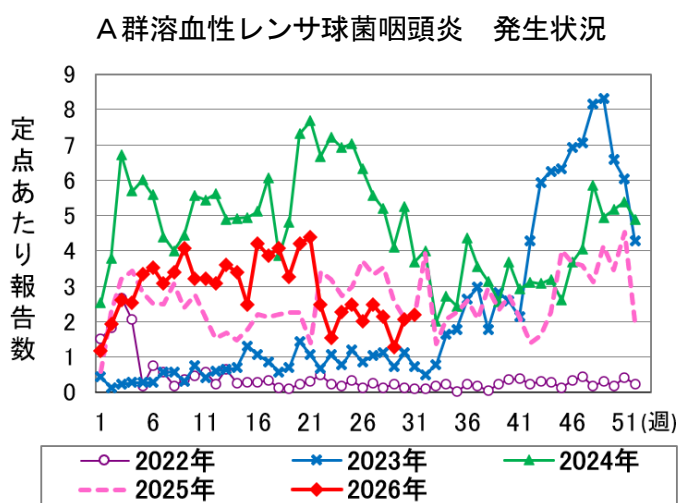
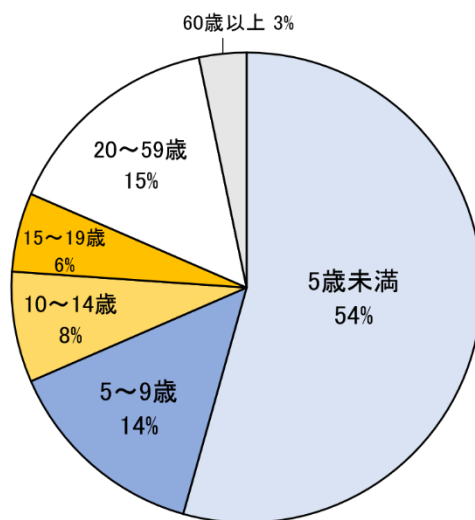


※2025 年第 15 週からは定点医療機関数が 58 から 28 に変更

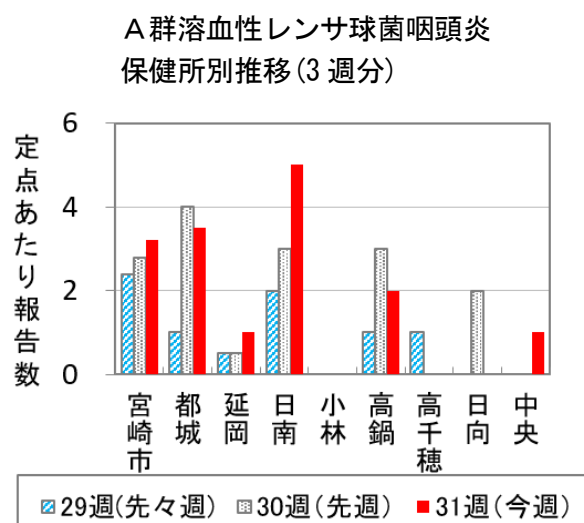
※新型コロナウイルス感染症の 2023 年第 1 週～第 18 週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

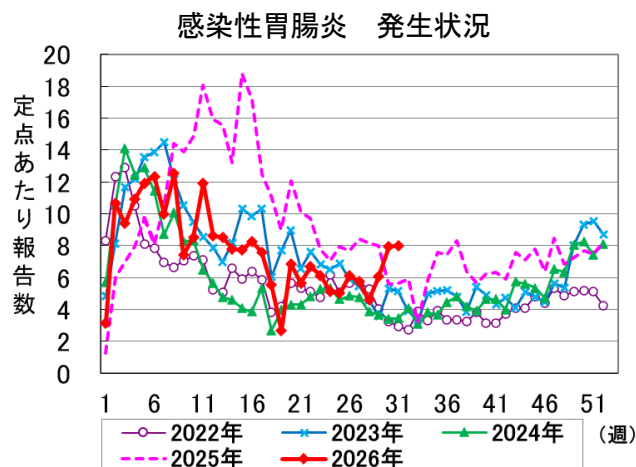


新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ (第 31 週)

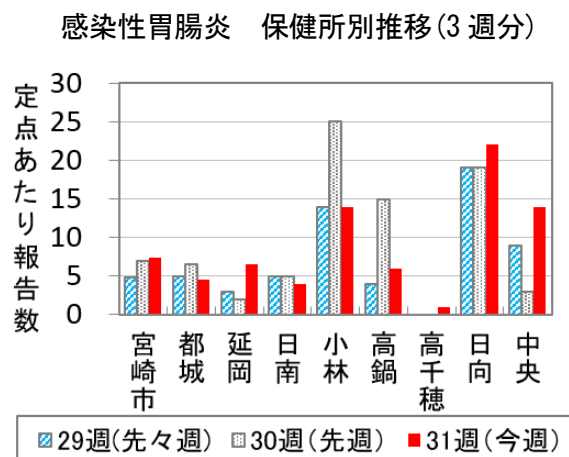


※2025 年第 15 週からは定点医療機関数が 36 から 15 に変更





※2025 年第 15 週からは定点医療機関数が 36 から 15 に変更



★基幹定点からの報告★

○無菌性髄膜炎：報告数は 1 例(定点当たり 0.14)で、延岡保健所から報告があった。年齢は 0～4 歳であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	流行性角結膜炎(12.0)
日南	なし
小林	水痘(1.0)
高鍋	水痘(1.0)
高千穂	なし
日向	感染性胃腸炎(22.0)
中央	なし

※流行警報レベル開始基準値※

- ・感染性胃腸炎(20)
- ・流行性角結膜炎(8)

※流行注意報レベル基準値※

- ・水痘(1)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

□病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部)

★急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection: ARI)

(第 30 週:7 月 20 日～7 月 26 日搬入分)

検出病原体			検出数
インフルエンザウイルス	A型	AH1 pdm09	0
		AH3	0
	B型	ビクトリア系統	0
		山形系統	0
新型コロナウイルス			1
RSウイルス	A型		0
	B型		1
パラインフルエンザウイルス	1型		1
	2型		0
	3型		0
	4型		0
ヒトメタニューモウイルス			2
ライノウイルス			4
エンテロウイルス			0
アデノウイルス			0
ヒトメタニューモウイルス・新型コロナウイルス			1
検出せず※2			3
受付検体数			13

○ 急性呼吸器感染症 (ARI) ※1サーベイランス検体について、急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実施した。

※1 急性呼吸器感染症 (ARI)：咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか 1 つ以上の症状を呈し、発症から 10 日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※2 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

(細菌・ウイルスについては 2026 年 8 月 3 日までに検出分)

★細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EPEC (O128:HUT)	80歳代	男	2026.06.30	発熱、嘔気・嘔吐、下痢、倦怠感	便	2026.07.09
Salmonella Miyazaki (O9:l,z13:1,7)	80歳代	男	2026.06.30	発熱、嘔気・嘔吐、下痢、倦怠感	便	2026.07.09
EHEC (O157:HUT)	30歳代	男	2026.07.03	発熱、腹痛、下痢、血便	便	2026.07.22
EHEC (O157:H7)	50歳代	男	2026.07.10	発熱、腹痛、下痢、血便	便	2026.07.22
EHEC (O111:HNM)	5～9歳	女	2026.07.11	水様性下痢	便	2026.07.27
EHEC (O111:HNM)	5～9歳	男	2026.07.12	水様性下痢	便	2026.07.27
EHEC (O111:HNM)	70歳代	女	2026.07.15	下痢	便	2026.07.27
EHEC (O111:HNM)	5～9歳	女	不明	腹痛、水様性下痢	便	2026.07.27

○幅広い年齢層から腸管出血性大腸菌が検出された。腸管出血性大腸菌感染症は初夏から初秋にかけて多発する。
食材の加熱や洗浄、調理器具の消毒、手洗い等を徹底する必要がある。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Adeno virus 41	0～4歳	女	2026.06.08	感染性胃腸炎、発熱、下痢	便	2026.07.28
Parvo virus B19	5～9歳	男	2026.07.01	伝染性紅斑	咽頭ぬぐい液	2026.07.27
Rhino virus A	0～4歳	男	2026.06.17	高サイトカイン型急性脳症、40.3℃、	咽頭ぬぐい液	2026.07.31
Human herpes virus 6			2026.06.17	熱性けいれん、上気道炎、下痢、	咽頭ぬぐい液 血清	2026.07.31
			2026.06.15	嘔気、嘔吐、意識障害、肝機能障害		
Adeno virus 2	0～4歳	男	2026.06.08	急性気管支炎、39.6℃、咽頭炎	咽頭ぬぐい液	2026.08.03

🇯🇵 全国 2026 年第 30 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	225 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	108 例	腸チフス	2 例		
4類感染症	E型肝炎	8 例	A型肝炎	16 例	エキノコックス症	1 例
	エムポックス	9 例	重症熱性血小板減少症候群	3 例	チクングニア熱	1 例
	日本紅斑熱	12 例	マラリア	3 例	ライム病	1 例
	レジオネラ症	68 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	4 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	11 例
	急性弛緩性麻痺	2 例	急性脳炎	9 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	13 例	後天性免疫不全症候群	5 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	25 例	水痘(入院例)	12 例
	多剤耐性緑膿菌感染症	6 例	梅毒	129 例	破傷風	2 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3 例	百日咳	62 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 77%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、感染性胃腸炎、手足口病及びヘルパンギーナであった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比 83%と減少した。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 5,706 人(1.5)で前週比 72%と減少した。愛媛県(7.0)、大分県(5.2)、佐賀県(5.1)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 7 割を占めた。

手足口病の報告数は 15,729 人(7.0)で前週比 75%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(6.8)の約 1.0 倍であった。群馬県(13.8)、栃木県(13.2)、埼玉県(12.9)からの報告が多く、年齢群別では 6 ヶ月から 2 歳が全体の約 8 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015—2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

疾病名		第30週	第31週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	4	4	1	2			1				
	定点当り	0.14	0.14	0.11	0.50	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	106	92	8	6	34	12	18	2	4	4	4
	定点当り	3.79	3.29	0.89	1.50	11.33	6.00	9.00	1.00	2.00	2.00	2.00
RSウイルス感染症	報告数	18	13	5	1	1			6			
	定点当り	1.20	0.87	1.00	0.50	0.50	0.00	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	7	8	8								
	定点当り	0.47	0.53	1.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	31	33	16	7	2	5		2			1
	定点当り	2.07	2.20	3.20	3.50	1.00	5.00	0.00	2.00	0.00	0.00	1.00
感染性胃腸炎	報告数	119	120	37	9	13	4	14	6	1	22	14
	定点当り	7.93	8.00	7.40	4.50	6.50	4.00	14.00	6.00	1.00	22.00	14.00
水痘	報告数	1	4	1		1		1	1			
	定点当り	0.07	0.27	0.20	0.00	0.50	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	7	4	3								1
	定点当り	0.47	0.27	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
伝染性紅斑	報告数	1										
	定点当り	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	8	8	5		2		1				
	定点当り	0.53	0.53	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	3	1	1								
	定点当り	0.20	0.07	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数		1	1								
	定点当り	0.00	0.07	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	16	13	1		12						
	定点当り	2.67	2.17	0.33	0.00	12.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	1	1			1						
	定点当り	0.14	0.14	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	2										
	定点当り	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

2026年 第30週(07月20日～07月26日)

		第29週	第30週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器感染症	報告数	1164	1154	257	187	149	54	105	115	86	139	62
	定点当り	41.57	41.21	28.56	46.75	49.67	27.00	52.50	57.50	43.00	69.50	31.00

ARI定点:28、小児科定点:15(ARI定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2026年 第01週～31週 保健所受理分)

2類感染症	結核	84例(5)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	41例(2)				
4類感染症	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	3例	つつが虫病	4例
	日本紅斑熱	9例	レジオネラ症	9例		
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	2例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1例
	急性脳炎	1例	クリプトスポリジウム症	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7例
	後天性免疫不全症候群	4例	侵袭性肺炎球菌感染症	8例	水痘(入院例)	6例
	多剤耐性緑膿菌感染症	2例	梅毒	39例	播種性クリプトコックス症	4例
	破傷風	1例	百日咳	46例	麻疹	1例

()内は今週届出分、再掲